

令和4年度事業報告(案)
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

I 法人の状況について

1 本年度事業計画における重点項目の実施状況

(1) 支援・広報の発展、充実

① 「性暴力被害者サポートネットワーク茨城」における「相談・コーディネート」の拠点としての支援を充実する。

○ 専門機関との交流・研修、内部研修

医療・教育・県・警察関係及び当センター支援活動員に対する研修会を Web により開催した。(R4.12.3)

講師：目白大学心理学部心理カウンセリング学科准教授 齋藤 梓氏

「男児の性被害について」

○ 性暴力被害者サポートネットワーク茨城意見交換会

茨城県、茨城県警察本部(警務課犯罪被害者支援室、捜査第一課)、茨城県産婦人科医会、茨城県医師会、当センター及び一般社団法人LANS による意見交換会を定期的で開催し連携を図っている。(R4.4.14、11.17)

○ 相談員の負担軽減のためのスーパーバイズ

電話受理、支援等の都度実施した。

○ 性暴力被害者支援を周知するための広報ツールの充実

茨城県生活文化課のホームページや県及び市町村広報紙に案内を掲載していただいたほか、広報啓発グッズを作成・配布して周知を図った。

② 全国被害者支援ネットワークが行う電話相談事業との円滑な連携運用を行う。

センター開設時間外の相談対応について、全国被害者支援ネットワークの犯罪被害者等電話サポートセンター(全国共通ナビダイヤル 0570-783-554)との連携運用を図った。

③ 社会全体で被害者等を支える気運の醸成に寄与するため、茨城県及び市町村の広報紙に広報文の掲載を要請し、被害者支援の浸透を図る。

・県の広報紙(ひばり 11月号、2月号)、ホームページに記事掲載のご協力をいただいたほか、各地区被害者支援連絡協議会において、各市町村の広報紙への掲載を要請した。

④ 支援活動員及び犯罪被害相談員を増員させることにより、被害者支援活動を支える基盤を強化し、支援内容の充実及び質的向上を図る。

支援活動員及び相談員の新規の認定がなく、双方に退会者が出たため減員となった。

	令和4年度	令和3年度	増減	備考
支援活動員	35	37	-2	退会2
相談員	13	14	-1	退会1

⑤ より充実した被害者支援活動を進めていくため、支援活動員及び犯罪被害相談員の待遇改善を図る。

令和3年7月に引き上げられた非常勤職員の時給900円(支援活動員、犯罪被害相談員とも同額)が、最低賃金を下回っていることから職員給与規程を改訂し待遇の改善を図る。

第1号議案

(2) 財政基盤の確立

○ 令和4年度収入

・会費（正会員、賛助会員）	約 254 万円
・県（性暴）補助金	約 543 万円
・市町村負担金・助成金	約 287 万円
・県警補助金	250 万円
・日本財団預保納付金助成	約 183 万円
・支援活動員養成講座受講料	27 万円
・茨城新聞文化福祉事業団助成	20 万円
・共同募金会助成	19 万円
・水戸市社協ボランティアサークル活動助成金	2 万円
・寄附金(寄附金付自販機 186 万円を含む)	約 276 万円

令和4年度収入合計 約 1,861 万円

○ 使用済みインクカートリッジ回収事業

リサイクル可能なカートリッジの数に応じて寄附金が振り込まれる「使用済みインクカートリッジ回収事業」を開始し、8機関に回収ボックスを設置していただいた。

- | | |
|---------------|--------------------|
| ・茨城県庁 | ・茨城県水戸合同庁舎 |
| ・茨城県総合福祉会館 | ・茨城県警察本部 |
| ・水戸警察署 | ・水戸市役所 |
| ・海上保安庁茨城海上保安部 | ・株式会社原子力セキュリティサービス |

2 役員等に関する事項

役員及び職員の異動はなかった。

3 会員等に関する事項

	令和4年度	令和3年度	増減	備考
正会員	67	64	+3	退会1、入会4
個人賛助会員	105	105	±0	退会3、入会3
法人賛助会員	71	69	+2	退会1、入会3

4 総会、役員会等に関する事項

5月の第40回理事会及び6月の総会は対面で、3月の第41回理事会は書面審議で開催した。

総会 1回開催（6月21日）

理事会 2回開催（第40回：5月30日、第41回：3月22～29日）

第1号議案

II 事業内容について

本法人定款第4条により策定した令和4年度の事業計画に基づいて行った事業等につき、以下のとおり報告する。

1 支援事業（公1）

(1) 被害者等に対する電話相談及び面接相談事業

① 支援件数

【表1】に支援件数、【表2】に直接的支援件数を示す。

【表1】 支援件数

区分	令和4年度	令和3年度
電話相談	744	631
面接相談 (法律相談含)	53	25
直接的支援	159	104
自助グループ	6	3
メール相談	85	84
合計	1,047	847
性暴力被害者サポートネットワーク茨城(内数)		
電話相談	462	378
面接相談	22	14
直接的支援	24	14
メール相談	82	79
合計	590	485

【表2】 直接的支援の内容

支援内容	令和4年度	令和3年度
裁判関連	36	20
検察庁関連	0	3(1)
警察署関連	4(1)	1(1)
弁護士事務所付添い	0	0
自宅訪問・生活支援	1	2(2)
病院付添い	8(7)	6(6)
行政付添い	8(8)	3
緊急支援金等申請	4	
その他	98(8)	69(4)
合計	159(24)	104(14)

()は性暴力サポートネットワーク茨城の件数

② 相談電話開設時間

ア 犯罪被害相談 : 月～金 10:00～16:00

土日休日及びセンターの執務時間外の7:30～22:00の間は、全国被害者支援ネットワークが運営する全国共通ナビダイヤル(0570-783-554)で対応(年末年始を除く)

イ 性暴力被害相談 : 月～金 9:00～17:00

センターの執務時間外及び夜間休日は、国(内閣府男女共同参画局)が設置した「性犯罪・性暴力被害者支援のための夜間休日対応コールセンター」で対応。コールセンターが病院等での処置が必要と判断した緊急対応事案(直接的支援)は、

一般社団法人 LANS(つくば市)

が対応(業務委託)し、24時間365日体制を保持している。

(2) 被害者等への物品の供与又は貸与、役務の提供及びその他の方法による直接的支援事業

上記【表2】の直接的支援内容別件数のとおり、裁判関連(付添い、代理傍聴等)が主な支援となっている。その他は、全国被害者支援ネットワークの緊急支援金の申請の説明や資料の送付、自助グループへの連絡等である。

(3) 犯罪被害者等給付金の支給を受けようとする被害者等が行う裁定の申請を補助する事業

第1号議案

犯罪被害者等給付金の申請補助を行う案件はなかった。

(4) 被害者等自助グループへの支援事業

センターが支援した被害者遺族を対象とした自助グループ「よつばのクローバ」は、開催場所を方面別に県内3カ所で6回開催した。

全ての感情をそのまま受け止めて支持してもらえる自助グループへの参加が、早期の精神的被害回復に役立つと言われており、今後も、参加者の思いを大切にしながら活動を継続する。

(5) 被害者等の実態に関する調査及び研究事業

- ① 常に新しい情報の入手に努め、関連図書の充実を図った。
- ② 内閣府、警察庁、大学等の研究機関、全国被害者支援ネットワークのアンケートや調査に対応した。

(6) 他機関との連携による被害者等支援事業

① 「茨城県犯罪被害者等支援条例」に基づく支援計画の策定

令和3年3月制定の「茨城県犯罪被害者等支援条例」第8条に基づき、令和4年3月、犯罪被害者等支援施策を総合的かつ計画的に推進するための「茨城県犯罪被害者等支援計画」が策定された。同計画策定のための有識者会議「茨城県犯罪被害者等支援施策検討委員会」は3回開催され、当センターから荒川理事長、石渡理事、千手理事の3名が委員として出席した。

② 茨城県警察

茨城県警察警務部警務課犯罪被害者支援室と日常的に連携を図っている。また、茨城県公安委員会指定の「犯罪被害者等早期援助団体」として、被害者等の要望により、県警犯罪被害者支援室からの支援要請を受けて支援している。

- ・ 県警察「犯罪被害者支援専科」講師（R4.6.23 県警察学校）
- ・ 県警察「性犯罪捜査専科」講師（R4.7.27 県警察学校）
- ・ 「被害者支援地区連絡協議会」は12地区で開催され、講師を派遣した。

③ 茨城県

県民生活環境部生活文化課安全なまちづくり推進室と日常的に連絡を取り合っている。

- ・ 市町村被害者支援窓口担当者研修 講師（R5.2.20）
- ・ 茨城県、茨城県警察、当センターによる「犯罪被害者等に対する連携支援の実施に関する協定書」に基づく連携支援調整会議は開催されなかった。

④ 性暴力被害者サポートネットワーク茨城

令和4年度、県から「性犯罪・性暴力支援事業補助金」として608万円が交付された。

令和5年度の県補助金として、729.9万円（医療費補助60万円、夜間コールセンター対応外部委託金180万円を含む）が予算措置された。

- ・ 性暴力被害者サポートネットワーク茨城意見交換会（R4.4.14、11.17）
- ・ 医療関係者、学校関係者、県関係者、警察関係者等及び当センター支援活動員対象の研修会をWebで開催した。（R4.12.3）
- ・ 性暴力被害者サポートネットワーク協力要請
協力病院（44病院）、精神科病院（8病院）
※ 「協力病院一覧」として、方面別に9病院を茨城県及び当センターのホームページ

第1号議案

ジに掲載

- ⑤ 全国被害者支援ネットワーク
 - ・全国事務局長会議 (R4.4.19 Web)
 - ・全国被害者支援ネットワーク総会 (R4.6.21 Web)
 - ・支援活動責任者研修 (R4.8.5・6 Web)
 - ・全国理事長会議 (R4.8.9 Web)
 - ・関東甲信越ブロック事務局長会議 (R4.10.7 Web)
 - ・NNVS 認定コーディネーター会議 (R4.5.16、9.12、11.14、12.16 Web)
 - ・企画部会 (R5.2.1 全国ネットワーク)
 - ・関東甲信越ブロック事務局長会議 (R4.10.7 Web)
- ⑥ その他
 - ・茨城県いじめ問題対策協議会 (R4.7.1 茨城県教育研修センター)
 - ・茨城県防災ボランティアネットワーク総会 (R4.7.12 茨城県総合福祉会館)
 - ・法テラス被害者支援連携会議 (R5.3.6 日本司法支援センター茨城地方事務所)
法テラス、県弁護士会、水戸地検、県警、県立こころの医療センター、当センター
 - ・茨城県防災ボランティアネットワーク研修会 (R5.3.23 茨城県民文化センター)

2 広報事業 (公2)

(1) 広報資料の充実

- ① 茨城新聞文化福祉事業団の助成により、相談電話番号入りの卓上カレンダー(1,000部)を作成、配布した。
- ② ホームページを更新した。(事業報告、収支決算情報公開等)
- ③ ニュースレター (No.39、No.40) を発行した。(会員、関係機関・団体等へ配布)
- ④ 広報用グッズとしてセンター名および支援内容入りのポイントメモ (1,000冊) を作成、配布した。
- ⑤ 犯罪被害者の方々のための刑事裁判案内(1,000部)を改訂した。
- ⑥ リーフレット「犯罪の被害にあわれた方へ わたしたちはあなたを支援します」(5,000部)を改訂した。

(2) 広報発活動の推進

- ① 犯罪被害者支援講演会 (R4.11.10) 茨城県民文化センター
茨城県、茨城県警察共催
演題：「大切な娘の命を奪われて」
講師：内閣府「犯罪被害者等施策推進会議」委員 和氣みち子氏
- 犯罪被害者週間に伴う活動
 - ・水戸駅ペDESTリアンデッキにおいて、茨城県安全なまちづくり推進会議、茨城県被害者支援連絡協議会、水戸地区被害者支援連絡協議会主催の街頭キャンペーンが3年ぶりに開催 (50団体約100名が参加) され、広報啓発品を配布し被害者支援への理解と協力を呼びかけた。(R4.11.25)
 - ・各警察署ロビー等において、センターの広報用DVDの放映
「犯罪被害に遭ったら ～私達にできること～」(約10分間)
 - ・県庁ロビーでの「被害者支援パネル展示」において広報啓発グッズを配布

第1号議案

パネル前にリーフレット等の広報啓発品を陳列し、自由にお取りいただいた。

(R4.11.21~30)

② 県内市町村への広報啓発

県内各市町村に当センターの支援事業へのご理解とご支援をお願いし、財政的支援をいただいている。

- ・ 水戸市においては、イオンモール水戸内原において開催された「こみっとフェスティバル」に参加。展示ブースにセンター紹介のパネル及び広報グッズを陳列し、来場者に配布した。(R5.2.18・19)

また、水戸市役所こみっと広場 Web サイトにおいてセンターの活動を紹介するとともに、「市民活動情報コーナー」に広報チラシ等を掲示していただいた。

- ・ 水戸市福祉ボランティア会館（ミオス）及び水戸市役所多目的ホールで開催された「ボランティアサークル活動パネル展示会」に参加、センター紹介パネルの前にリーフレットを陳列し、自由にお取りいただいた。(R4.7.12~8.22) (R4.8.22~9.9)

③ 被害者支援連絡協議会

茨城県被害者支援連絡協議会総会は、10月12日県庁講堂で開催され、特別講演で全国被害者支援ネットワーク顧問 安田貴彦氏が「地域における被害者支援の充実を目指して」と題し講演された。

また、各地区で開催された被害者支援連絡協議会の総会や幹事会に、講師として参加し当センターの活動報告や支援への協力をお願いし、広報資料や広報グッズを配布した。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| ・ 牛久地区 (R4.10.26) | ・ ひたちなか地区 (R4.11.1) |
| ・ 筑西地区 (R4.11.8) | ・ 取手地区 (R4.11.11) |
| ・ 行方地区 (R4.11.14) | ・ 水戸地区 (R4.11.16) |
| ・ 鉾田地区 (R4.11.18) | ・ 常陸太田地区 (R4.11.21) |
| ・ 笠間地区 (R4.11.22) | ・ 境地区 (R4.11.24) |
| ・ 日立地区 (R5.2.1) | ・ 下妻地区 (R5.2.24) |

④ 茨城県関係

- ・ 県、県警共催 生徒対象の「いのちの講演会」

波崎柳川高校 (R4.7.21) 日立工業専修学校 (R4.7.22)

犯罪被害者やそのご家族、ご遺族の体験談を通じて、自分や他人の命の大切さや罪を犯してはならないことなどの基本意識を養うとともに、犯罪被害者支援に対する理解の促進を目的として開催。

参加の学生や教員に、全国被害者支援ネットワーク作成のマンガで学ぶ犯罪被害者支援「こんなときどうする?」と当センター作成の反射ストラップを配布した。

- ・ 県、県警、県暴力追放センター主催「暴力追放茨城県民大会」の参加者への配布物にセンターのチラシを入れていただいた。(R4.10.20 県民文化センター)

⑤ その他の関係機関・団体関係

- ・ 茨城県社会福祉協議会を通じ、茨城県総合福祉会館1階の「福祉PRコーナー」に犯罪被害相談と性暴力被害相談（性暴力被害者サポートネットワーク茨城）のポスター2枚を掲示していただいた。

- ・ 水戸青年会議所主催「第47回ちびっ子広場」に参加、生命（いのち）のミュージアムブースにおいて父兄及び児童に広報資料とともに反射ストラップ等を配布した。

第1号議案

(R4.5.15 千波公園ふれあい広場)

- ・茨城県共同募金会の「赤い羽根共同募金街頭活動」水戸駅 (R4.10.3) センター名入りのスタッフジャンパーを着用し、赤い羽根募金を呼びかけた。

⑥ メディア等による広報

- ・茨城県生活文化課により茨城県広報紙「ひばり」(R5.2)及び各市町村広報紙に、性暴力被害の専用相談電話「性暴力被害者サポートネットワーク茨城」への案内記事を掲載していただいた。
- ・水戸市社会福祉協議会ボランティアサークル活動助成金により、茨城県安全運転管理協会の「運転管理いばらき」(隔月発行の11・1月号)に広告を掲載した。
- ・産経新聞茨城版(8月21日付)防災週間特集に広告を掲載した。
- ・水戸市地区時刻表に広告掲載した。
- ・支援活動員養成講座受講生募集、被害者支援講演会案内広報
茨城新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、東京新聞、読売タウンニュース、月刊ぷらざ、月刊みと、月刊サクラサク、FM ぱるるん他

⑦ キャンペーン

毎年定期的に実施していた「ロックの日」(6月)、「安全なまちづくり」(10月)、「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」(毎月11日)の街頭及び店頭活動は、新型コロナウイルス感染拡大により実施できなかった。

3 養成・研修事業(公3)

(1) 支援活動員等の養成及び研修事業

① 養成講座

第23期支援活動員養成講座(初・中級編)開講 R4.6~R5.3(20回)

初級編14人、中級編8人が受講し、令和5年度開催の上級編に4人が進級

第22期支援活動員養成講座(上級編)開講 R4.6~R5.3(20回)

上級編4名が受講し、うち1名が支援活動員に認定された。

② 支援活動員認定者対象の継続研修(原則毎月第1木曜日)

- ・相談員・支援活動員継続研修会10回
新型コロナウイルス感染予防のためWeb研修のシステムを導入し開催した。
- ・支援活動員養成講座の聴講
適宜講座を聴講し研修した。

⑤ 全国被害者支援ネットワーク及び外部研修会への参加

- ・上智大学グリーンケア研究所公開講座「悲嘆について学ぶ」(R4.5.12~6.30 全8回 Web)
- ・関西学院大学講演会(R4.6.11 Web)
- ・命の里・天羽プロジェクトあいの会10周年記念集会(R4.7.9 Web)
- ・関西学院大学悲嘆と死別の研究センターオンライン講座「さまざまなグリーフの理解」(R4.8.20)
- ・全国被害者支援ネットワーク質の向上研修上期関東甲信越ブロック研修会(R4.8.27・28 甲府市)
- ・性暴力被害者支援のための夜間・休日コールセンターを利用するワンストップ支援センターのための合同研修(R4.10.5 Web)

第1号議案

- ・関西学院大学悲嘆と死別の研究センターオンライン講座「葬儀とグリーフケア」(R4.10.8)
- ・「全国犯罪被害者支援全国フォーラム 2022」(R4.10.14 Web)
- ・「令和4年度秋期全国研修会」(R4.10.15・16 Web)
- ・ウイングス京都主催パープルトーク「男性の性暴力被害から見えること」(R4.11.13 Web)
- ・関西学院大学悲嘆と死別の研究センターオンライン講座「グリーフと遺族支援のいろは」
「家族のクリーフ～家族の出来事として死別を考える」(R4.11.19)
- ・司法面接研修(NICHHD)研修(R4.11.28 Web)
- ・全国被害者支援ネットワーク自助グループファシリテーター育成研修
(R4.12.2・3 日本財団)
- ・上智大学クリーフケア研究所公開講座「悲嘆について学ぶ」(R4.12.8 Web)
- ・茨城いのちの電話公開講座「ひきこもりの高齢化と対話的支援」(R4.12.11 Web)
- ・上智大学クリーフケア研究所特別講習会「悲嘆とともに生きる」(R5.2.2 Web)
- ・内閣府性犯罪被害者支援体制整備促進事業医療関係者研修(R5.2.13 Web)
- ・立命館大学司法面接基礎⑤研修(R5.2.13・14 Web)
- ・全国被害者支援ネットワーク質の向上研修下期近畿ブロック研修会(R5.3.4・5 Web)
- ④ その他(当センターのNNVS認定コーディネーターを派遣)
- ・全国被害者支援ネットワーク質の向上研修上期北海道・東北ブロック研修会講師
(R4.7.21・22 Web)
- ・北海道被害者相談室継続研修及び養成講座講師(R4.9.1 札幌市)
- ・全国被害者支援ネットワーク質の向上研修下期北海道・東北ブロック研修会講師
(R4.11.10・11 Web)
- ・ゆあさいどくまもと継続研修講師(R4.11.11 Web)
- ・常磐大学短期日本研修プログラムマドラス大学犯罪学科講師(R5.3.23 常磐大学)

Ⅲ 会務、その他

1 総会

令和4年度 定時社員総会 令和4年6月21日
議事 令和3年度事業報告(案)について
令和3年度決算書(案)について
報告 令和3年度収支補正予算
令和4年度事業計画
令和4年度予算資金調達及び設備投資の見込み
令和4年度収支予算

2 理事会

- 第40回理事会 令和4年5月30日
令和3年度事業報告(案)について
令和3年度収支決算書(案)について
公益事業安定化準備金(案)について
- 第41回理事会 令和5年3月22日～令和5年3月29日(書面審議)
令和4年度収支補正予算(案)について
令和5年度事業計画書(案)について

第1号議案

令和5年度収支予算書(案)について
特定費用準備資金(あなたに知ってほしいこと改訂事業)(案)について
理事改選について
支援活動員任用について
事務局体制について
職員給与規程の改訂(案)について

3 助成申請

日本財団令和5年度預保納付金助成金

- ・犯罪被害者等早期援助団体の犯罪被害相談員の育成及び支援に関わる人材養成(352万円)

4 事務局会議

随時開催

5 その他

- ・当センターの長年の被害者支援及び広報啓発活動に対し関東管区警察局長感謝状が授与された(R4.7.19付)
- ・アサヒビール株式会社茨城工場より寄附金受領(R4.7.27)
- ・茨城セキスイハイム株式会社より寄附金受領(R4.12.2)
- ・株式会社セイブより寄附金受領(R4.12.15)
- ・茨城県警察より寄附金及び書き損じはがきを受領(R4.12.26)
- ・水戸市大型店協議会より寄附金受領(R5.3.2)
- ・NTT東日本株式会社茨城支店よりホンデリング寄附金受領(R5.3.8)